

対話と反想、

オープン・ダイアログと

リフレクティビングは、

社会的排除と差別に対して

なにができるか？

第54回
日本臨床心理学会
大阪大会



日時 2018 9/29(土)・30(日) 会場 大阪人間科学大学 庄屋学舎 A棟 大阪府摂津市庄屋1-12-13

今話題のオープン・ダイアログと反想法（リフレクティビング）は、北欧の精神医療保健と家族療法のなかから、「危機を好機にする」ことで生まれてきた手法であり、思想でもあります。それらは、その出てきた領域にとどまらず、引きこもり支援などにも、紛争解決に関わる運動にも、さらに組織刷新や地域のためにも、大いに活かせるものです。そして、それらは、専門家のあり方や臨床心理（学）の通念を遥かに超えて、セラピーやグループに関するこれまでのパラダイムをひっくり返す力を秘めています。

これに加えて、この大会では、オープン・スペース・テクノロジー（OST）の考え方を一部取り入れて全体をデザインします。OSTは、個人のイニシアティブを最大限に活かし、これまでのグループ・ワークやミーティングの文化を大きく変えるものです。

見知らぬカタカナ語が氾濫していて、困惑される方も多いかと思います。しかし、知らないことこそが、素朴な良い質問を次々と生み出し、相手にも、全体にも、大きく役立つことがあります。「分かったつもりになる、分かったフリをする、分かったことにする」これが蔓延する社会のなかで、私たちは、この「無知の知」を大会全体の精神として高く掲げたいと思います。

専門用語を知らずとも、大会の基本テーマに関心があれば、誰でも充分に参加できる会。人数は少なくとも、そこに集まる貴重な人々と興味深く有意義な交流がうまれる。対話と反想を通してこれまでとは一味も二味も違った〈学び〉の場と機会になる。そしてその時その場だけのイベントで終わるのではなく、そこでの〈学び〉がその後じわじわと生きていききっかけになる。これらを強く願っています。

大会実行委員長：滝野功久（いさく）

テーマに関心のある方なら、どなたでも参加できます。

■予定表

OD：オープン・ダイアログ RF：リフレクティビング OST：オープン・スペース・テクノロジー

1日目 (29日)	11:30~	～ 受付 ～	〈同時開催〉
	12:30~	ポスターセッションあるいは問題提起	A：メインテーマとOD/RFの解説 B：RFの実習/実践 C：当事者研究①
	14:00~ 17:45	D：不登校から見える今の学校	
	18:00~ 19:30頃	～ 交流・懇親会 ～	
2日目 (30日)	8:45~	～ 受付 ～	〈同時開催〉
	9:00~	総会	F：OD/RF 入門講座 G：当事者研究②
	10:30~	E：ヒアリング・ヴォイシズ	
	12:30~	～自由な交流会（昼食）～	
	13:30~ 17:00	H：全体会・ワークショップ 大会テーマに基づいた自発的小グループでの話し合いと最後の振り返りとシェアリング	

※プログラムは変更になることがあります。

■プログラム

OD：オープン・ダイアログ RF：リフレクティビング OST：オープン・スペース・テクノロジー

1日目
(29日)

A 12:30~
反想(法)＝リフレクティビングとは何か？①
メインテーマとOD/RFの解説
オープン・ダイアログに入っている反想法(リフレクティビング)の基本テクニックとその考え方の解説とグループワークによる体験学習

B 14:00~
リフレクティビングの実習/実践
ナラティブ・アプローチは臨床心理学に何をもたらしているか？
ナラティブ・アプローチのパワー、それが揺るがしているもの、力づけているもの。(ナラティブ・アプローチの基本的な考え方の解説とAの振り返りも行いたい。)

C 14:00~
当事者研究①
反想法を自主的に実践しているグループワークの紹介や当事者研究にそれらがどのように活かされるかについて、リフレクティビングをその場で使いながら話し合ってみよう。
(話題提供者募集中)

D 14:00~(同時開催)
スクールロイヤー
峯本耕治 弁護士*との対話
「不登校から見える今の学校」
「学校は子どもの成長発達権の保障のために重要な場所。子どもたちがその居場所を失わずに済むように、もってできることがあるやろ！」というメッセージです。
*大阪府教育委員会スクールロイヤー
SSW(スクールソーシャルワーク)事業スーパーバイザー

会場案内図

2日目
(30日)

E 10:30~(同時開催)
ヒアリング・ヴォイシズを巡る世界の動向とオープン・ダイアログ
初めにヒアリング・ヴォイシズについて簡単な解説。次に9月にオランダ・ハーグで開催されるThe 10th World Hearing Voices Congressの報告。その後、オープン・ダイアログとヒアリング・ヴォイシズとの共通点と相違点、相互に学び合える点を話し合います。

F 9:00~
オープン・ダイアログとリフレクティビング入門講座
反想法を自主的に実践しているグループワークの紹介や当事者研究にそれらがどのように活かされるかについて、リフレクティビングをその場で使いながら話し合ってみよう。
(話題提供者募集中)

G 10:30~
当事者研究②
反想法＝リフレクティビングの思想的背景とオープン・ダイアログの歴史的背景を巡る質疑・応答とミニ体験学習

H 13:30~
OSTの説明とその方式による全体会・ワークショップ
大会テーマに基づいた自発的小グループでの話し合い最後の振り返りとシェアリング
反想法＝リフレクティビングを応用しながら、AからGまでの話し合いの一部を共有しながら、全員参加のワークショップ

会場案内図

申込み 1日目のポスターセッションと問題提起、および両日に渡る当事者研究に関する発表や話題提供をしたい方は、至急以下に連絡してください。

大会事務局 kyotoiszs@gmail.com

問合せ その他の問い合わせは、学会事務局に jde07707@nifty.com / TEL:075451-4844

参加費 ◎会員：2500円 ◎非会員：3000円 ◎学生/当事者：1500円

交通 ◎会場：大阪人間科学大学 庄屋学舎 A棟 (大阪府摂津市庄屋1-12-13) へのアクセス
■新大阪駅から、JR 京都線「岸辺駅」下車 徒歩 10分
■阪急京都線「正雀駅」下車 徒歩 5分

